

2018 heimtextil QUALITY TREND

Reporter MIKI KITAHARA 6/9

■ クオリティー傾向
全体的にナチュラルな方向に向かっている。その背景には、環境に配慮したサステイナブルな原料によるものづくりを感じさせる。糸や素材の組成は、天然繊維ではなくとも仕上がりや風合い、タッチが自然のインスピレーションや、素朴さ、クラフト感を残したテキスタイルを表現。また一方では、素材のテクスチャーやキルティングによる洗練された都会的でモダンなテキスタイルを見ることができる。



2018 heimtextil PATTERN TREND

Reporter MIKI KITAHARA 7/9

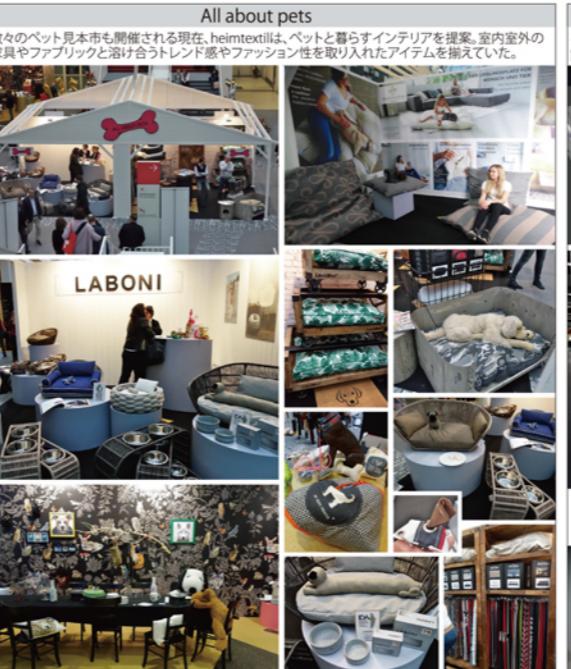
■ パターン傾向
全体に熱帯植物、トロピカル調のパターン比率が高く、昨年よりもさらに増大。ブースのメインの展示や新作のコレクション、コーディネイトの中には、必ずといっていいほど植物や動物をアレンジしたトロピカルやエキゾチックなパターンを展示。昨年の鳥や蝶を含めた動物類は、よりアーティスティックにデザイン化され、これまでにないアニマルの印象を一新。エレガント感が加わったデザインを披露した。



2018 heimtextil STYLE TREND

Reporter MIKI KITAHARA 8/9

■ ニュースポット
今年から新たに2つの特設エリアが設けられた。Hall.8と9の間ガレリアに設けられたベットインテリアのコーナーと、Hall.4.2のコントラクト市場にむけたテキスタイルのアプローチのエリア。どちらもこれまでの家庭用や商業用業界だけではない世界的にも拡大する分野への今後の可能性をつかむ。



2018 heimtextil SUMMARY

Report Miki Kitahara 9/9

■ 概略

長期的な展望で未来のライフスタイルをとらえ、そこにテキスタイルがどうかかわりあっていくかをデザインやテイストのトレンドとして発信している。ハイムテキスタイルは、4つのライフスタイルの方向性を提示。**①THE HEALTHY SPACE****②THE FLEXIBLE SPACE****③THE RE-MADE SPACE****④THE MAKER SPACE**を視野に入れ、その上で、複雑化したテキスタイルトレンドの要素を体系的にとらえていくことが重要。

カラ-	クオリティー	パターン	ニュースポット
<ul style="list-style-type: none"> ●幅広いグリーン ・ディープ・ミディアム・ヘイギングリーンと濃度の幅も広く、青みよりのティールグリーンや黄みがかったモスグリーン・カーキへと無地のグラデーションコード(ネイビー)や、パープルの表現。 ・植物系のオーガニックな色合い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●廃材、廃棄物からの新たな製品価値 ・工業資材や自然の廃棄物など、思わぬ材料の再利用による新たな価値を持つテキスタイル。フリース・廃材のステッチ・パッチワーク/製き布/貝殻/工業用テープ/貝殻/メッシュ&PVC/メッシュの破片/廃棄植物 	<ul style="list-style-type: none"> ●ニュートロピカル ・色やタッチを加えてアーティスティックな表現や、エッセンスを加えたトロピカルなパターン。 	<ul style="list-style-type: none"> ●All about pets ・ペットと暮らすインテリアを提案。室内室外の家具やファブリックと溶け合うトレンド感やファッショニ性を取り入れたアイテムを揃えていた。
<ul style="list-style-type: none"> ●インディゴブルー ・伝統的な染色手法から表現されるインディゴブルーが、味わい深い色合いで表現された。 ・ハンドメイドや工芸的な手法に関わらず、ほかしゃべり、ミックスや、塗糞にしたり、控えめな霜降り調の色調。 	<ul style="list-style-type: none"> ●無地ライクのテクスチャー ・無地調のテキスタイルは、空間のベースやコーディネイトに欠かせない。 ・ベーシック感を残しながら、糸擦りの段階からミックスや、塗糞にしたり、控えめな霜降り調の色調。 ・ワッフル/リースケット/編り/ツイード/スペースダイ/織かい/ハッキング組織で無地ライクに。 	<ul style="list-style-type: none"> ●きもかわアニマル ・アニマル(魚、鳥、蝶含む)のモチーフを取り入れたファブリックが、アートで芸術的、またユニークで個性的な表現で目を引いた。アニマル=カジュアルなイメージは抜け、ラグジュアリーで気品を感じるデザインも披露。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Interior Architecture Hospitality ・コントラクター、建築家やインテリアデザイナー、ホテル関係者、家具業者達が交流する場として、ビジネスサロンや製品説明のエリアツアなどを設けた新しいエリア。
<ul style="list-style-type: none"> ●スモーキーバステル ・トーンを抑えたバステルの色調がシックで穏やかなムードを作る。アイボリーから始まる淡色のファンデーションカラーからグレイッシュな中間色のトーンを構成。 	<ul style="list-style-type: none"> ●不規則でラフな仕上げ ・デニムやインディゴ染めのイメージを残しながら、ストレートなテクニックを施している。 ・装飾的なダメージ/デニム+フリンジ刺繍/洗いざらしのフリンジ/ブリーチ加工/ストーンウォッシュ/ムラ染など 	<ul style="list-style-type: none"> ●ペイントフローラル ・彩り豊かなフローラルが継続している。植物のトロピカルなデザイン傾向を受け、フローラルも、そのグレーピングに入るもののや、クラシックな手書き風、ビンテージな花のコラージュなど様々な表現。 	<ul style="list-style-type: none"> ●drapilux ・MAASBERG ・chieftainfabrics
<ul style="list-style-type: none"> ●ビンテージ系がモードへテラコッタへ ・昨年からビンテージの存在感は強く、スモーキーバステルの中でも比率は高く、落ち着きのあるモードやテラコッタカラーへの広がりを印象付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●シングルトライバル ・トライバルなテクニックは、展示の中には定番的なもので、アートで芸術的、またユニークで個性的な表現。 ・単色表現やシングルにデザイン化したもののがあわわず多い。 ・素材感や仕上げのテクニックでシングルなサーフェイスに味わいをプラス。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カラードグレー ・カーテンや壁紙を中心にグレー系はもはや定番カラーとなる。うすら色味が加わり、スモーキーバステルへのグループにつながる「リット」もある。 ・グレーやグレージュのクールなグレー系に移行。 	<ul style="list-style-type: none"> ●Low&Bonar ・WILHELM ・lexenmax.nl ・studioammeer.com
<ul style="list-style-type: none"> ●ソフトなボリューム感 ・穂やかな凹凸感が製品やテキスタイルに軽量で柔らかい心地よさを与えている。ミニマルな幾何学パターンでモダンなサーフェイスを表現。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フローラル ・彩り豊かなフローラルが継続している。植物のトロピカルなデザイン傾向を受け、フローラルも、そのグレーピングに入るモノや、クラシックな手書き風、ビンテージな花のコラージュなど様々な表現。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カラードグレー ・カーテンや壁紙を中心にグレー系はもはや定番カラーとなる。うすら色味が加わり、スモーキーバステルへのグループにつながる「リット」もある。 ・グレーやグレージュのクールなグレー系に移行。 	<ul style="list-style-type: none"> ●All about pets ・ペットと暮らすインテリアを提案。室内室外の家具やファブリックと溶け合うトレンド感やファッショニ性を取り入れたアイテムを展示。